

さがみ自然フォーラム開催の趣旨



さがみ自然フォーラムは、毎年開催し今回 20 回目を迎えることができました。野生動植物保全フォーラムの時代から長い間、みなさまのご支援がなければ続けることが出来ませんでした。ここに深く感謝いたします。

2002 年盛夏、クーラーの効かない公民館の一室で、荻野自然観察会・会長、花上友彦氏と厚木植物会・会長、諏訪哲夫氏（故人）によって県央近隣の友好団体の情報交換の新しい場をつくる話し合いがまとまりました。諏訪哲夫氏が生物の教師時代の 1960 年ごろに指導した高校生の集まり「北相自然保護の会」のような自然誌情報の共有が必須と思われたようです。

当時、神奈川県県央では大規模な住宅団地造成や工業団地の進出、高速道路の整備など都市化が急速に進み、里地里山が顧みられなくなり、野生動植物の衰退が顕在化していました。ふるさとの自然を大切にしなければ、その恩恵も受けられなくなるとの危機感もありました。

このフォーラムは、2014 年より厚木市の生物多様性あつぎ戦略推進事業の一環として、NPO 法人神奈川県自然保護協会と共催で開催しています。前身の野生動植物保全フォーラムからの開催環境を顧みると苦労も多く中止か?の危機もあったようですが、みなさま方からの強力なお力添えがありました。今回も昨年春からのコロナ渦で開催が危ぶまれていましたが従来とはプログラムを大幅に変更して、開催に漕ぎつけることができました。

身近な自然環境に関心を持つ市民が多くなっています。地球温暖化が要因と考えられる事象がマスコミを賑わしています。2030 年代初めまでにはクルマは EV 化するでしょう。企業は必死に 2050 年に向かってカーボンニュートラルに取り組むでしょう。そのためのインフラも整備出来るでしょう。私たちの生活も SDGs などの視点により転換が求められます。

私たちの周りでは自然環境や生態系を考える市民団体、企業、学生、児童生徒たちが数多く活動しています。このフォーラムは「豊かな自然を、まもり育てよう」をメインテーマに調査や研究、啓発活動しているみなさま方の、情報や運営スキル、ノウハウの発信ステージです。この機会におなじデスクトップ同志として、共通の悩みや情報をネット構築し提携してはいかがでしょうか。

今回の展示には若い方々の提案もたくさんあります。みなさま方の活動指針となるヒントもあるでしょう。ご観覧いただき身近な自然環境や将来像など、何かを感じていただけたら主催者側として開催冥利につきる次第です。

2021 年 2 月吉日

第 20 回 さがみ自然フォーラム運営委員会
代表 長岡 恂